

令和7年度 倉敷市社協 会員ご加入のお願い

昨年度も多くの皆様にご加入いただき、誠にありがとうございました。私たち倉敷市社協は、地域の皆様と一緒に「地域でつながりだれもが安全・安心に暮らしていく支え合いのまち」づくりを推進しています。会費は、本会が実施する事業や地域の方々が行う福祉活動を支えるための大切な財源になっています。皆様からの温かいご支援、お力添えを心よりお願い申し上げます。

会費を活用して実施する地域福祉活動の取り組み



サロン開設の支援



身近な地域の支え合い活動について学ぶ
福祉講座を開催



地元の危険個所を確認する
防災ウォーキングへの支援

令和6年度実績
33,118,050円

会員会費(年額)
普通会費 1口 300円
特別会費 1口 1,000円
賛助会費 1口 5,000円

たくさんのご協力をありがとうございました！

口座振込でもご加入いただけます

金融機関：中国銀行 倉敷市役所出張所

預金種目：普通

口座番号：1021051

しゃかいふくしうじん くらしきししゃかいふくしきょうぎかい かいちょう なかぎり やすし
口座名義：社会福祉法人 倉敷市社会福祉協議会 会長 中桐 泰

※ お振込みいただいた方は、倉敷市社協地域福祉課へご連絡ください。

福祉まちづくり自動販売機を設置くださいありがとうございました！

「福祉まちづくり自動販売機」の売り上げの一部が倉敷市社協が実施する地域福祉活動に活かされ、社会貢献ができます。

フューリアス
Furius株式会社様が第56号機を設置してくださいました。ジーンズストリートの無人観光センターに設置しています。ご協力ありがとうございました。



(左)Furius株式会社
代表取締役/CEO
猪野 遼介様
(右)倉敷市社協
副会長 内田 浩二

編集・発行 社会福祉法人 倉敷市社会福祉協議会

事務所名	住 所 ・ 電 話 等	施 設 名	休 館 日
総務課 地域福祉課	〒710-0834 倉敷市笠沖180番地 TEL 434-3301 FAX 434-3357	くらしき健康福祉 プラザ3階	毎週月曜日 祝日 年末年始
倉敷ボランティアセンター	〒710-0834 倉敷市笠沖180番地 TEL 434-3350 FAX 434-3357	倉敷駅西ビル8階	
倉敷結婚相談所	〒710-0055 倉敷市阿知1-7-2-803 TEL 427-0667 FAX 427-0670	水島支所3階	
水島事務所	〒712-8062 倉敷市水島北幸町1-1 TEL 446-1900 FAX 440-0154	児島支所4階	
児島事務所	〒711-0912 倉敷市児島小川町3681-3 TEL 473-1128 FAX 470-0054	玉島支所2階	
玉島事務所	〒713-8121 倉敷市玉島阿賀崎1丁目1-1 TEL 522-8137 FAX 523-0054	真備保健福祉会館1階	
真備事務所	〒710-1301 倉敷市真備町箭田1161-1 TEL 698-4883 FAX 698-9622		
真備支え合いセンター	〒710-1301 倉敷市真備町箭田1161-1 TEL 698-5115 FAX 698-9622		
船穂福祉センター	〒710-0261 倉敷市船穂町船穂1861-1 TEL 552-5200 FAX 552-9030	船穂町高齢者福祉センター	毎週日曜日・祝日 年末年始

本広報紙の発行には共同募金の配分金の一部を使用させていただいております。

～地域でつながり だれもが 安全・安心に暮らしていく 支え合いのまち～
くらしき社協だより104号 令和7年 夏号

ほつと社協!

主な内容

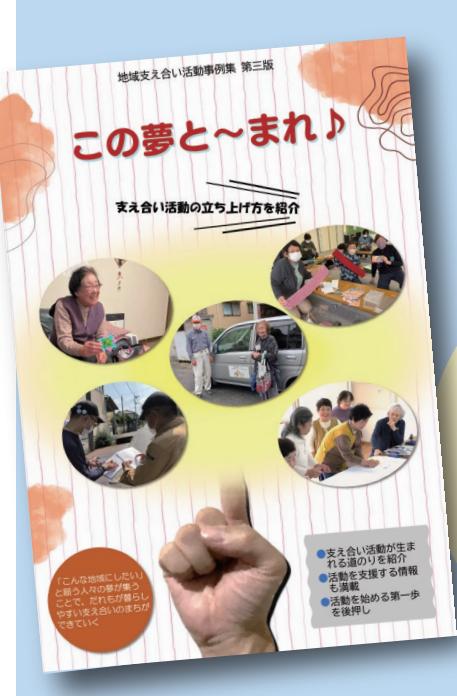
- 令和7年度 倉敷市社会福祉協議会事業計画・当初予算
- 地区社会福祉協議会の活動紹介
- 活躍している個人の紹介「輝く人みつけた」
- 特集 身近な法人による公益活動
「地域をよくする仕組みを一緒につくりませんか」
- 令和6年度 赤い羽根共同募金・歳末たすけあい募金のご報告
- 第12回 福祉のまちづくりゴルフ大会 参加者募集！

みんなの参画で地域が元気に! 地域支え合い活動!

社会福祉法人 純晴会 浮洲園による
「介護の知識を活かした
出前講座」



地域では様々な形の支え合い活動が展開されており、その活動は住民だけではなく、社会福祉法人などの様々な機関が参画することで、より充実したものになっています。



地域支え合い活動事例集 第三版
「この夢と~まれ♪」
できました！

「こんなことができたらいいな」「あんなことがやりたいな」という地域の願いや希望が集まって、支え合いのまちになっていく！



「支え合い活動ってなに？」
「活動を始めるきっかけや
立上げ方がわからない」
「どこと連携したらよいかわからない」
という時は…

地域の様々な支え合い活動が立ち上がった手順や工夫の他に、色々な機関と連携した事例、活動を応援する相談窓口や制度など、情報満載の事例集ができました。ぜひ、元気な地域づくりの参考に活用してください！

<事例集配布場所>
◆倉敷市社協地域福祉課・倉敷市社協各事務所
◆倉敷市役所健康長寿課
◆倉敷市社協ホームページから電子版をダウンロードできます。



令和7年度 倉敷市社会福祉協議会 事業計画・当初予算

令和7年度は、地域福祉活動計画の基本理念である「地域でつながりだれもが安全・安心に暮らしていくける支え合いのまち」の実現に向け、次の7つの重点目標に取り組みます。

【重点目標】

- (1) 地域福祉活動計画及び発展強化計画の着実な推進
- (2) 第4次地域福祉活動計画の策定
- (3) 第4次発展強化計画の策定
- (4) 相談支援体制の強化
- (5) 重層的支援体制整備事業の実施
- (6) 社会課題の解決に向けた財源確保の実施
- (7) 災害対応を目的とした事業の実施



事業内容・当初予算

① 公私協働事業 254,643千円

- ▷ 社協会費、寄附金、共同募金配分金、市補助金等により実施する事業
 - ◆ 広報活動事業
 - ◆ 地区社協活動・団体育成事業
 - ◆ 福祉講座事業
 - ◆ 法人後見事業
 - ◆ 福祉機器貸出事業
 - ◆ 歳末たすけあい配分事業
 - ◆ 福祉ボランティア育成事業 など

② 受託事業 202,739千円

- ▷ 県社協及び市受託事業
 - ◆ こども若者支援事業
 - ◆ 相談支援体制強化推進事業
 - ◆ 地域づくり事業
 - ◆ 給食サービス事業
 - ◆ 生活支援コーディネーター配置事業
 - ◆ 介護支援サポーター養成事業
 - ◆ 日常生活自立支援事業
 - ◆ 重層的支援体制整備事業
 - ◆ 地域共助型ボランティア育成事業（夏のボランティア体験事業）
 - ◆ 地域包括支援センター事業 など

③ 自主事業 93,788千円

- ▷ 介護保険関連事業
 - ◆ 居宅介護支援事業
 - ◆ 通所介護事業
 - ◆ 訪問介護事業

④ 市指定管理事業 21,224千円

- ▷ 市から指定管理者として指定を受けて実施する事業
 - ◆ 高齢者福祉センター事業

⑤ 収益事業 6,611千円

- ▷ 福祉事業に使うことを目的に実施する事業
 - ◆ 競艇場売店事業

* 閲覧できます *

事業計画、資金収支予算書は倉敷市社協のホームページで閲覧できます。



役員（理事）の紹介

新たに評議員会において選任された倉敷市社会福祉協議会理事を紹介いたします。

田口 明子（令和7年3月26日就任）

※任期は、令和7年定時評議員会終結のときまで

新入職員紹介



★4月入職★
地域福祉課 主事
玉木 咲良

よろしくお願いします！

福祉のまちづくりを支える 賛助会員名簿

令和6年11月1日から令和7年2月28日までに賛助会費を納入いただいた皆様を掲載しています。（五十音順、敬称略）ご協力ありがとうございます。

【倉敷】(株)暁建築設計事務所、(株)木の城いちばん、倉敷市特養連絡協議会、倉敷商店街振興連盟、倉敷タクシードラム、(福)倉敷福祉事業会昭和保育園、酒津商事(株)、(株)佐和測量コンサルタント、(株)創心會、(株)創明コンサルティング・ブレイン、大地測量(株)、たけだ小児科、(協組)テクノバレー岡山、テクノ柳生(株)、TOP HAIR、(福)中野社会福祉協会、(有)ピーエフカンパニー、(株)藤原車輌、(株)マルエイ岡山支店、(株)ミズケイ、室山運輸(株)、(有)ヨコヤマ防災、(有)リトルマーメイド笹沖、(株)菱和オート

【玉島】(有)三和石油

社会福祉協議会へのご寄附、誠にありがとうございました。

令和6年11月1日から令和7年2月28日までにご寄附いただいた皆様を掲載しています。（五十音順、敬称略）下記のほかに掲載を希望されない方から多数のご寄附をいただいております。

※ 税額控除対象法人へ個人で年間2,000円を超えるご寄附をされた方は、税制上の優遇が受けられます。

◇篤志寄附

【倉敷】青葉歌のサークル(金一封) **【水島】**匿名(金一封)
サロンドすずらん(金一封) **【玉島】**増田 秀幸(金一封)
(宗)真如苑(金一封) **【真備】**真備町仏教会(金一封)
しよう子(金一封) 農事組合法人服部営農組合 代表理事
(有)ピーエフカンパニー(金一封) 水川 實夫(金一封)
匿名(金一封) 匿名(金一封)

◇香典返し寄附

【倉敷】楠戸 陽一(金一封)
田中紀美恵(金一封)
松浦 悅子(金一封)
【真備】河田 勇雄(金一封)
塩尻 典正(金一封)
田淵 淑子(金一封)

寄附金の受付は
「窓口へのご持参」又は
「銀行振込（右記）」が
ご利用いただけます。

金融機関：中国銀行 倉敷市役所出張所 預金種目：普通
口座番号：1117198
口座名義：社会福祉法人
倉敷市社会福祉協議会 寄付金会計
会長 中桐 泰

※恐れ入りますが振込手数料は
ご負担ください。
※お振り込みいただいた方は、
倉敷市社協総務課へご連絡ください。

第12回 福祉のまちづくりゴルフ大会 参加者募集！

- 開催日：10月27日（月）
- 会 場：鷺羽ゴルフ俱楽部
- 対 象：倉敷市在住・在勤者
- 参加費：3,000円（チャリティー代込み）
- プレー費：8,700円程度（昼食費込み）
- 競技方法：Wペリア方式 ※当日キャディーは付きません。
- 申込方法：所定の申込書で、倉敷市社協各事務所へFAX又はご持参ください。
(申込書は、倉敷市社協ホームページ及び倉敷市社協各事務所にあります)
- 申込期間：8月19日（火）～9月28日（日）必着

■お問い合わせ先 倉敷市社協地域福祉課：☎434-3301



地域福祉推進事業助成金のご案内

倉敷市社協では、地域福祉活動に取り組んでいる団体の活動を支援します。

- 対象事業：地域福祉を推進するための先駆的な取り組みで、倉敷市社協会長が必要と認めた令和7年度中に実施する事業（単年度限り）
- 申込締切：7月4日（金）必着
- 助成額：事業費総額の1／2以内（上限5万円）

■お問い合わせ先 倉敷市社協地域福祉課：☎434-3301



贈る!
磨く!
学ぶ!
出かける!

車イスでつながる支え合いの輪

倉敷市社協では市内に居住し、在宅で生活する方を対象に車イスの貸し出しをしています。この車イスは、貸し出す以外に色々なところで地域住民や企業がかかわり、車イスを通した参画や地域の支え合いの活動につながっています。

贈
る

個人や企業などの「車イスが必要な方に利用してほしい」「地域のために何かしたい」というお気持ちから、車イスをご寄附いただいています。

磨
く

車イスを利用する方が安心・安全に使っていただくために、ボランティア団体や企業の方々とともに、車イスの整備・清掃を行っています。

学
ぶ

ご寄附いただいた車イスは倉敷市社協が実施している出前福祉講座でも使用され、幅広い世代の学び合いが福祉意識の向上につながっています。

出かける

倉敷市社協で貸し出した車イスが、ケガをした方や足が動かしにくい方の通院や買い物、旅行など様々な外出に利用されています。

車イスの貸し出しが必要な方はご相談ください

貸し出し場所	倉敷市社協各事務所
手続きに必要なもの	手続きに来られる方の本人確認書類(運転免許証など)
費用	無料
借りられる期間	原則6か月以内



■お問い合わせ先 倉敷市社協各事務所



令和6年度 赤い羽根共同募金・歳末たすけあい募金のご報告



ご協力いただきありがとうございました。心よりお礼申し上げます。

「つながりをたやすない社会づくり～あなたは一人じゃない～」を全国共通のテーマとしています。皆様からお寄せいただいた募金は、地域での福祉活動に活かされています。今後とも、共同募金運動のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

赤い羽根共同募金
54,891,673円

- 倉敷市内の地域福祉活動に約60%、岡山県内の施設・団体などが行う福祉活動に約40%が活かされています。
- 全国の災害復興支援活動にも役立てられています。



歳末たすけあい募金
17,980,026円

- 倉敷市社協が行う事業や助成金に活かされています。
- 敬老祝い品贈呈事業
- 歳末慰問金贈呈事業
- 市内地区社協(55か所)で実施する歳末事業への助成など
- 地域福祉活動(ボランティア活動や福祉団体の活動など)



地区社会福祉協議会の活動紹介

しふく

四福地区社会福祉協議会(水島地区)

現在、市内には55の地区社会福祉協議会(地区社協)が設置されています。

住民や様々な組織・団体の方で構成される地区社協では、地域課題の解決のために、それぞれの地域の特性に合わせた活動が行われています。今回は四福地区社会福祉協議会の活動を紹介します。

みんなで広げるしあわせ四福!



ふれあい四福パントリー

令和6年8月から始めた最も力を入れている活動です。地区内の生活困窮、不登校、孤独・孤立などの課題があつたことから、重点目標①に焦点を当て「つながりづくり」がいすれ、地域の困りごとの解消につながることを願って始めました。

佐藤会長は「基本理念『みんなで広げるしあわせ四福!』をもとに三世代が仲良く暮らしやすい地域社会を目指し、これからも活動していきます」と今後の意気込みを話してくださいました。



【基本理念】

みんなで広げるしあわせ四福!

- 重点目標① 住民同士のつながりを強化
- 重点目標② 高齢者や障がい者にやさしく住みやすい地域づくり
- 重点目標③ 健やかな子どもの成長を応援します。
- 重点目標④ 地域の安全に努めます。

(小地域福祉活動計画より抜粋)

輝く人みーつけた

今回は真備町にお住まいの中尾 幸子さんを紹介します。中尾さんは平成30年7月豪雨で自身も被災されました。被災者支援の拠点「倉敷市真備支え合いセンター」の連絡員として被災した方に寄り添い続けました。現在は服部地区のサロン「すずらんの会」や傾聴ボランティア「おはなし隊」、また石川県輪島市への被災地支援として「あみあみプロジェクト」を立ち上げて活動されています。

活動のきっかけ…

平成30年7月豪雨で被災した当時、輪島市から「被災した方の気持ちがすこしでも和むように」と「和みバッグ」をいただき、被災した方のたくさんの笑顔につながりました。

令和6年能登半島地震で輪島市が被災し「支援を受けた輪島市に何か恩返しができないか」と、サロンやおはなし隊メンバー、倉敷市社協の職員と相談しました。そこで、サロンで行っていた活動をヒントに「寒さの厳しいところなので少しでも温まって欲しい」と手編みのマフラーを作つて送る「あみあみプロジェクト」が始動しました。



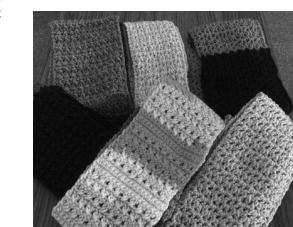
中尾 幸子さん

それそれができることを…

あみあみプロジェクトでは、マフラーを編むだけではなく、毛糸の提供、毛糸の仕分けや封入作業など、輪島の被災地を想い、皆さんができるに取り組まれています。出来上がったマフラーは輪島市社協を通じて、被災した方へ届けられています。

これから…

中尾さんは「自分たちが大変な時に支援してくれた輪島市の方々に何か恩返しがしたかった。サロンやおはなし隊メンバー、活動に賛同してくれた様々な方や、倉敷市社協の職員の協力がなくては絶対にできなかつた。これからも輪島市の方のためにみんなでできることをしていきたい」と語ってくれました。



「あみあみ」したマフラー

「身边な法人による公益活動」

特集

1

「地域をよくする仕組みと一緒につくりませんか」

2

私たちの暮らす地域では、困りごとの多様化・複雑化により、現行の制度に当てはまらず問題が深刻化している人が多くおられます。

倉敷市社協は、これらの問題を解決するために住民や関係機関とともに、第3次倉敷市地域福祉活動計画を策定し推進しています。

そして、地域の多様な困りごとに応じた地域貢献活動を地域の一員として取り組みたいと考える社会福祉法人や企業も多くあり、倉敷市社協ではそのような「地域に役立つ何かをしたい!」と一緒に考え応援する取り組みを行っています。ここでは、現在地域で行われている公益活動の一部を紹介します!公益活動として「地域のために何かしたい」「何をしていいか分からぬ」という方は、ぜひ倉敷市社協にご相談ください。

社会福祉法人 純晴会 浮洲園 「浮洲園サロン講座＆ウキ活」

粒江地区にある社会福祉法人純晴会 浮洲園は、高齢者福祉サービスを提供している施設です。

「浮洲園サロン講座」は倉敷市社協の職員と施設長とのつながりから始まりました。高齢者の通いの場の支援として、地域からの依頼に応じて、生活相談員、看護師、理学療法士などの専門職が、地域に出向き講座を実施しています。現在は38種類もの講座があり、身近な相談役としての機能も果たしています。

「ウキ活」は浮洲園内で実施される健康講座です。心も体も元気に暮らすためにできることを、職員と参加者が一緒に考えて活動しています。ウキ活の延長線上で、地域のニーズに応じて、グラウンドゴルフ大会が開催されました。みんなが集まることで、新たな活動が生まれています。



社会福祉法人 純晴会 浮洲園
難波施設長にインタビュー

どんな些細なことでも活動していくつながりが増えます。浮洲園は地域の方から頼み易い施設でありたいと願っています。そして、いつまでも馴染みの関係、馴染みのある家(地域)で暮らし続けることを応援したいと思っています。

社会福祉法人 クムレ 「つどいの (おうち) わたげ」

社会福祉法人クムレでは「全ての人が安心して暮らせる地域づくり」を目指して、助成金を活用して住宅を取得し「つどいの (おうち) わたげ」を立ち上げました。

開設にあたって、クムレの職員だけではなく、民生委員・児童委員や地区社協の役員、住民、大学生など徐々にメンバーを広げながら「地域を元気にするために何ができるか」協議した結果「子どもを中心とした地域のすべての人が集える場づくり」から始めました。

その取り組みの1つが、地区社協が主催し月に1回開催される100円モーニング「Caf'e社協たんぽぽ」です。

「年齢を問わず、誰もが利用できる居場所」として住民同士の交流が広がっています。参加すると、知った人と話ができたり、得意なことで人に喜んでもらったり、困っていることを自然に話したりできる場になっています。

「つどいの (おうち) わたげ」は住みやすい地域になるため、みんなで「何ができるか」を話し合って次の取り組みを決める、活動の拠点になっています。



社会福祉法人 クムレ
西野さんにインタビュー

「場所」があることで「人」が集まり、情報が生まれます。情報を通して人と人がつながっていくことで、地域の困りごとを抱えた人を支える意識が芽生えていることが見えてきました。

支えていくためには入りやすい入口が必要です。そこには住民との連携が必須であり「場所」を通してつながり、手を差し伸べる誰かがいる社会をつくることが大切な視点だと考えています。

これからも、住民との対話を通じてつながりを大切に、子どもも大人も安らげる居場所づくりを目指していきたいと思います。

困りごとに寄り添う

外出や交流をサポート

社会福祉法人 しおかぜ 「しおかぜお台場」

「しおかぜお台場」は児島下津井地区にあるデイサービスなどの複合施設です。社会福祉法人しおかぜは、コロナが流行する中、令和3年4月から倉敷市社協の実施する「くらしき互近助パントリープロジェクト」のパントリーサポーターとして、食料品や生活用品を詰め込んだボックスの設置を開始しました。

くらしき互近助パントリープロジェクトを始めて、食料品を近所に配るために利用される方がおり、話題づくりや気にかける関係が見えるようになりました。また、デイサービス利用者だけでなく、近隣住民がサロン活動を行う集いの場にもなっています。

「くらしき互近助パントリープロジェクト」とは?

様々な機関・団体・個人から頂いた食料品や生活用品を活用して、住民同士の交流を支援する活動。



社会福祉法人 しおかぜ
原さんにインタビュー

下津井は高齢化率が高く、過疎化が進んでいる地区です。一方で住民同士の関係性が強く残っている地域でもあります。お互いを気にし合う関係は、今後もなくてはならないものだと感じています。

この関係をずっと続けていけるお手伝いができたと想え、倉敷市社協からの勧めもあってこの活動を始めました。引き続き、ご近所付き合いをサポートしていけたらと思っています。



社会福祉法人 松園福祉会 あすなろ園
中塚園長にインタビュー

実施するにあたり、利用される方のご要望に応えられるように、それでいて路線バスの運行には影響がないようになど検討を重ね、お店側の協力もあり、多くの方にご利用いただいている。

3年目を迎えた今では地域からの要望に応じて増便しています。地域の方々から喜びの声を聞くと、実施してよかったですと感じます。



(左) 中塚園長 (右) 妹尾運転手

利用された方の声

- 運転はできるけど遠出や車が多いところは不安。
生鮮食品だけでなく靴や花が買えたのが良かった。
- 今まで買い物はお嫁さんに頼んでいたけど、
こういう機会があると気晴らしになる。
- 移動スーパーも助かっているけど、
これを利用すると色々なものから選ぶことができるのがありがたい。